

食品安全委員会の 11 月の運営について

1. 食品安全委員会の開催

第406回 11月10日（木）

- (1) 食品健康影響評価の要請
- ・以下の案件についてリスク管理機関から説明

遺伝子組換え食品等 （1品目）	BR151 (pUMQ1)株を利用して生産された4- α -グルカノトランスフェラーゼ
--------------------	--

- (2) 各専門調査会における審議結果についての報告
- ・各専門調査会から報告された以下の案件について国民からの意見・情報の募集に着手することを決定

農薬（1品目）	ジメタメトリン
遺伝子組換え食品等 （2品目）	BR151 (pUAQ2)株を利用して生産された6- α -グルカノトランスフェラーゼ、高オレイン酸含有ダイズDP-305423-1と除草剤グリホサート耐性ダイズMON-04032-6を掛け合わせた品種

- (3) 食品健康影響評価
- ・以下の案件について検討し、食品健康影響評価の結果をリスク管理機関に通知

農薬（1品目）	サフルフェナシル
---------	----------

- (4) 平成23年度食品安全確保総合調査対象課題（案）について
- ・事務局から報告

- (5) 食品安全関係情報（10月7日～10月21日収集分）について
- ・事務局から報告

第407回 11月17日（木）

- (1) 食品健康影響評価
- ・以下の案件について検討し、食品健康影響評価の結果をリスク管理機関に通知

農薬（1品目）	フラメトピル
---------	--------

- (2) 食品安全関係情報（10月22日～11月4日収集分）について
- ・事務局から報告

- (3) 食品安全委員会の10月の運営について
- ・事務局から報告

第408回 11月24日（木）

(1) 食品健康影響評価の要請

- ・以下の案件についてリスク管理機関から説明

農薬（11品目）	グルホシネート、クロマフェノジド、スピロメシフェン、ピリオフェノン、フルミオキサジン、オキシテトラサイクリン、トラルコキシジム、フェノキシカルブ、フルチアセットメチル、プロスルフロム、ヘキシチアゾクス
動物用医薬品（1品目）	オキシテトラサイクリン、クロルテトラサイクリン及びテトラサイクリン

(2) 各専門調査会における審議結果についての報告

- ・農薬専門調査会から報告された以下の案件について国民からの意見・情報の募集に着手することを決定

農薬（1品目）	メタゾスルフロム
---------	----------

(3) 食品健康影響評価

- ・以下の案件について検討し、食品健康影響評価の結果をリスク管理機関に通知

動物用医薬品（1品目）	アセトアミノフェンを有効成分とする豚の経口投与剤（ピレキシム10%）
-------------	------------------------------------

(4) 微生物・ウイルス関係ハザードに係るファクトシートの作成について

- ・事務局から報告

2. 専門調査会の運営

(1) 企画等専門調査会

第1回 11月21日（月）

- ・専門委員改選に伴う専門委員の紹介及び専門調査会の運営等についての説明が事務局からあったほか、座長の選出が行われた。
- ・「平成23年度食品安全委員会運営計画の実施状況の中間報告（案）」について事務局から説明があり、議論を踏まえ平成23年度食品安全委員会運営状況報告書を取りまとめることとなった。
- ・「グラヤノトキシン」並びに「アニサキス」及び「ジアルジア」について、引き続き、平成23年度の「自ら評価」案件候補にするか否かの検討を行うものとして整理された。また、「ヒラメ毒」並びに「3-MCPD」及び「3-MCPD脂肪酸エステル」について、新たな知見の有無について、事務局にて情報の収集及び整理を行い、その状況を次回の企画等専門調査会において報告の上、取扱いについて検討することとなった。
- ・平成22年度の「自ら評価」案件である「アクリルアミド」、同年度の「自ら評価」案件候補の情報提供及びファクトシート作成について、事務局から説明が行われた。
- ・これまでに選定されている「自ら評価」案件の進捗状況を踏まえ、「自ら評価」案件の今後の取扱いについて、事務局にて検討を行い、その検討結果を次回の企画等専門調査会において報告することとなった。
- ・緊急時における食品安全委員会の対応について、事務局から報告があった。

(2) 添加物専門調査会

第101回 11月29日(火)

- 「リン酸一水素マグネシウム」について調査審議し、継続審議することとなった。
- 「イソプロパノール」について調査審議し、継続審議することとなった。

(3) 農薬専門調査会

第12回 評価第一部会 11月2日(水) ※非公開

- 「カルボフラン」について調査審議し、継続審議することとなった。
- 「カルボスルファン」については、次回審議となった。

第12回 評価第四部会 11月4日(金) ※非公開

- 「フェニトロチオン」について調査審議し、評価書(案)を一部修正の上、農薬専門調査会幹事会に報告することとなった。ただし、確認事項に対する回答について評価部会で確認することとなった。

第78回 幹事会 11月15日(火)

- 「トリフルラリン」について調査審議し、評価書(案)を一部修正の上、食品安全委員会に報告することとなった。
- 「キノメチオナート」について検討の結果、評価第四部会において調査審議することとなった。

第12回 評価第三部会 11月28日(月) ※非公開

- 「ジクロベニル」について調査審議し、継続審議することとなった。

(4) 動物用医薬品専門調査会

第135回 11月11日(金)

- 専門委員改選に伴う専門委員の紹介及び専門調査会の運営等についての説明が事務局からあったほか、座長の選出が行われた。
- 「アザペロン」について調査審議し、継続審議することとなった。

(5) 微生物・ウイルス専門調査会

第27回 11月8日(火)

- 専門委員改選に伴う専門委員の紹介及び専門調査会の運営等についての説明が事務局からあったほか、座長の選出が行われた。
- 「ヨーネ菌感染症のファクトシート(案)」及び「ブルセラ症のファクトシート(案)」については加筆・修正意見が出され、事務局にて修正することとなった。
- 「細菌性赤痢のファクトシート(案)」については次回以降の専門調査会にて意見聴取を行うこととなった。

(6) かび毒・自然毒等専門調査会

第22回 11月30日(水)

- 専門委員改選に伴う専門委員の紹介及び専門調査会の運営等についての説明が事務局からあったほか、座長の選出が行われた。
- 「アフラトキシンM1及び飼料中のアフラトキシンB1」について調査審議し、継続審議することとなった

(7) 遺伝子組換え食品等専門調査会

第98回 11月25日(金) ※非公開

- 「BR151(pUMQ1)株を利用して生産された4- α -グルカノトランスフェラーゼ」について調査審議し、指摘内容について回答を求め、回答が確認されれば、評価書(案)を食品安全委員会に報告することとなった。
- 「イミダゾリノン系除草剤耐性ダイズBPS-CV127-9(食品・飼料)」について調査審議し、継

続審議することとなった。

(8) 新開発食品専門調査会

第80回 11月14日(月)

- ・ 専門委員改選に伴う専門委員の紹介及び専門調査会の運営等についての説明が事務局からあったほか、座長の選出が行われた。
- ・ 食品中に含まれるトランス脂肪酸に関する評価書(案)について、食品安全委員会に報告し、国民からの御意見・情報の募集手続を行っている旨が事務局より説明された。

第81回 11月14日(月) ※非公開

- ・ 「大人ダカラ」について調査審議し、継続審議することとなった。

(9) 肥料・飼料等専門調査会

第49回 11月2日(水)

- ・ 専門委員改選に伴う専門委員の紹介及び専門調査会の運営等についての説明が事務局からあったほか、座長の選出が行われた。
- ・ 「モネシン」について調査審議し、評価書(案)を一部修正の上、食品安全委員会に報告することとなった。

3. 意見交換会の開催等

(1) 意見交換会

食品に関するリスクコミュニケーション

ートランス脂肪酸に係る食品健康影響評価についてー

11月1日(火) <東京都>

- ・ 評価書案のパブリックコメント期間中に開催
- ・ 山添康・食品安全委員会新開発食品専門調査会専門委員からトランス脂肪酸に係る評価書案の概要について講演を行った。
- ・ 山添専門委員と参加者との質疑応答を行った。

食品のリスクを考えるフォーラム(山形県)～食品と放射性物質～

11月1日(火) <山形県>

- ・ 山形県との共催により開催
- ・ 事務局から放射性物質のリスク評価について、山形県から検査等の状況について情報提供を行った後、参加者からの「質問カード」の紹介と参加者による発言を交えながら意見交換を行った。

食品のリスクを考えるフォーラム(松山市)～食品と放射性物質～

11月11日(金) <愛媛県>

- ・ 松山市との共催により開催
- ・ 事務局から放射性物質のリスク評価について、松山市から検査等の状況について情報提供を行った後、参加者からの「質問カード」の紹介と参加者による発言を交えながら意見交換を行った。

食品のリスクを考えるワークショップ(京都府)～お肉の生食と食中毒～

11月11日(金) <京都府>

- ・ 京都府との共催により開催
- ・ 事務局から生食用食肉(牛肉)のリスク評価について情報提供を行った後、参加者が小グループに分かれてのグループワークを行い、そこで出た質問や意見を基に、参加者全体の意見交換を行った。

ジュニア食品安全ゼミナール（富山県）

11月15日（火）＜富山県＞

- ・富山県との共催により開催
- ・和合中学校1年生を対象として、副読本「科学の目で見える食品安全」を基にしたクイズを行った後、参加生徒と熊谷委員との意見交換を行った。

ジュニア食品安全ゼミナール（秋田県）

11月18日（金）＜秋田県＞

- ・秋田県との共催により開催
- ・十和田中学校1年生を対象として、副読本「科学の目で見える食品安全」を基にしたクイズを行った後、参加生徒と野村委員との意見交換を行った。

食品のリスクを考えるワークショップ（岡山市）～食肉の生食のリスクを知ろう～

11月18日（金）＜岡山県＞

- ・岡山市との共催により開催
- ・事務局から生食用食肉（牛肉）のリスク評価について情報提供を行った後、参加者が小グループに分かれてのグループワークを行い、そこで出た質問や意見を基に、参加者全体での意見交換を行った。

食品のリスクを考えるワークショップ（山口県）～食品中の放射性物質による健康への影響～

11月29日（火）＜山口県＞

- ・山口県及び山口県地域消費者団体連絡協議会との共催により開催
- ・事務局から放射性物質のリスク評価について情報提供を行った後、参加者が小グループに分かれてのグループワークを行い、そこで出た質問や意見を基に、参加者全体での意見交換を行った。

ジュニア食品安全ゼミナール（鹿児島県）

11月29日（火）＜鹿児島県＞

- ・鹿児島県との共催により開催
- ・河頭中学校2年生を対象として、副読本「科学の目で見える食品安全」を基にしたクイズを行った後、参加生徒と村田委員との意見交換を行った。

ジュニア食品安全ゼミナール（福岡県）

11月30日（水）＜福岡県＞

- ・福岡県との共催により開催
- ・輝翔館中学校1年生を対象として、副読本「科学の目で見える食品安全」を基にしたクイズを行った後、参加生徒と村田委員との意見交換を行った。

（2）講師等派遣

- ・地方公共団体や各種団体が企画した講演会等に委員が講師として参加した。

月 日	講演会名	対応委員
11月17日	平成23年度食品安全行政講習会 (厚生労働省)	熊谷委員長代理
11月26日	第9回日本栄養改善学会北海道支部学術総会	畑江委員
11月28日	第9回食品安全フォーラム (日本薬学会)	廣瀬委員